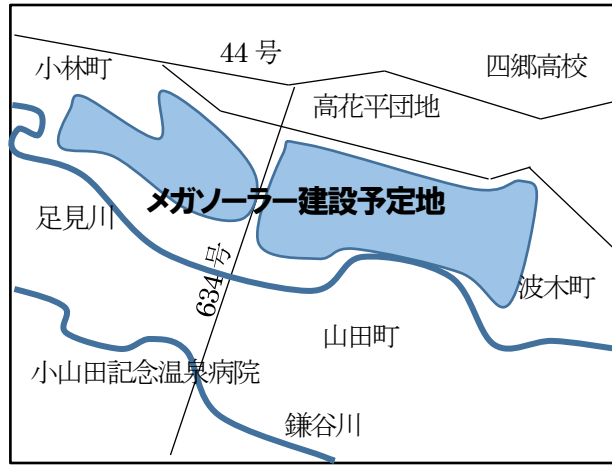


発行：日本共産党四日市市議団（四日市市役所10階議員団控室）2016(平成28年)10月

※このニュースは政務活動費で作っています。
ニュースや市政のご意見をお聞かせください。

☎ 354-8257(議会事務局)内線 2822(日本共産党控室)



【メガローラー建設計画附近略図】

里山を大規模に破壊

「足見川メガローラー」建設計画

事業面積95ha(国立競技場9個分)

かとう議員「市は『山林伐採は好ましくない』との意見書を提出せよ」と迫る

環境アセスメントは、開発事業の実施が環境にどのような影響を及ぼすのかについて、事業者自ら、あらかじめ調査、予測、評価を行い、住民、地元知事・市長から意見を聞き、環境保全について事業に反映させる

日本共産党のかとう清助議員は8月定例会議会で一般質問に立ち、足見川メガローラー建設計画と、国民健康保険料の引き下げについて市の考えをたずねました。

サシバの繁殖地
一帯は絶滅危惧種



これに対し市は「一朝一夕に(ママ)『好ましい』『好ましくない』と回答することは適切でない」と考えている」と答えました。

かとう議員はこうしたことを踏まえ、市に対し見出しの態度を迫りました。

日本野鳥の会三重は、建設予定地の山林で、環境省と県が絶滅危惧種に選定しているタカ科の鳥、サシバの繁殖地が確認されたとして8月、三重県知事と四日市市長に対し、事業は中止すべきとの意見を表明するよう要請を行っています。

国保料

15歳未満の子ども均等割 保険料ゼロに

財源はある



かとう清助議員

この記事に関するお問い合わせは
Eメール watcosmos@cty-net.ne.jp

かとう清助議員は、昨年8月議会に続き、改めて15歳未満の子ども均等割保険料をゼロにする(免除する)よう要求しました。

子どもにも均等割保険料をかける社会保険は国保だけで、その額は子ども1人当たり年間3万5600円。とりわけ低所得で子どものいる世帯にとっては、この均等割が大きな負担となっています。

これをゼロにするには、年間5千万円の財源が必要ですが、8月定例会議会に示された平成27年度国保特別会計の決算は14億9千万円の

黒字です。これとは別に、平成20年度～25年度にかけて、必要とする医療費以上に国保料をかけた結果、多額の剰余金が発生。それが基金として35億7千万円積みあがっています。

こうした国保会計の現状から、財源的には全く問題はありせん。

市は、「国保法令に反する」と答弁しましたが、かとう議員は、法令通り一旦均等割をかけたうえで、市は保険者としての裁量で、独自施策として減額・免除できるはずだと指摘しました。

裏面もご覧ください